中学校　第３学年　外国語学習授業案

平成 27 年 11 月 18 日水曜日　　第６校時

３年 生徒数 16 名

場所

授業者

1　単元名：東京書籍「NEW　HORIZON　English Course 3」

Unit 5　Electronic Dictionaries － For or Against

2　単元観(キャリア教育の視点を含む)

（１）教材観

本単元は、中学生の一郎がインターネット上に発した「電子辞書を使うべきか、それとも紙辞書を使うべきか」という問いかけに対して、様々な修飾語（句）や間接疑問文を用いて意見が交換されるという内容を通して、自分の気持ちや意見を相手に伝えたり、他者の意見や考えについて関心をもたせることのできる単元である。教科書の内容を生かして、ここでは「なぜ英語を勉強するのか」という問いかけに対して、自分なりの考えをまとめ、他者に自分の考えに対する賛否を問いかけたり、他者の意見を聞いたり読んだりして理解することで、今取り組んでいる「学習」が自分の将来にどのように関わってくるのか、「学習」に対する自分の考えを深めることができるのではないかと考える。そこで、本単元では、エ「書くこと」の（オ）「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」を、単元のゴールとなる「英語学習に対する自分の意見や考えを、理由をそえて書くことができる」という活動に関連付け、表現力、特に書く力を養いたい。

（２）生徒観

本学級の生徒は学習態度もよく、意欲的に授業に取り組むことができている。ペア活動、コミュニケーション活動にも積極的に参加し、班活動でも役割分担や教え合いをしながら課題に取り組むことができている。しかし、英語に対して苦手意識をもつ生徒も多い。単語に関しては、全学年の家庭学習として習慣化されている一日１ページの単語練習帳をほぼ全員が提出し、地道に丁寧に単語を書く練習はできているが、それらが知識として残っていない生徒がいるのも事実で、いざテストとなると努力が結果として見えない。その結果、まとまりのある英文を書こうとしても正確に書けないと感じ、英語学習への苦手意識や学習そのものへの意欲を減退させてしまっているのではないかと思われる。

また平成 26 年度高知県学力定着状況調査領域別正答率において「聞くこと」68.6%（県平均 63.1%）「読むこと」60.8%（県平均 58.1%）に対して「書くこと」は 28.7%（県平均 28.8%）と、正答率が大きく下回っており、「書く力」に弱さが見られる。特に、単文としては書けるが「語と語のつながりに注意して正しく書こうとしている」や「文と文のつながりに注意して正しく書こうとしている」といった、場面に応じてまとまりのある文章を正確に書くことを苦手

とする生徒が多い。

（３）授業観

本課では、最終的に英語の学習に対する自分の意見や考えを、理由を添えて書くことをゴールとしている。その目標を単元の最初に生徒に伝えることで、学ぶ意義について意識を向けさせ、学習していることが将来にどのようにつながっていくのかを考えさせながら、活動を進めたい。新しく学習する言語材料は、現在分詞と過去分詞の後置修飾と間接疑問文である。それらを使った簡単な文を読んだり書いたりしながら反復練習をして表現に慣れさせた後、自分たちでクイズを考え出題し合うなど、段階的に発展的な活動につなげていきたい。

目標にせまる活動として、初めは電子辞書と紙辞書を対比させてどちらを使うべきか賛否を表明しその理由を、フォーマットを用いて書かせたい。その後活動をさらに発展させて「英語の勉強をなぜするのか」といった生徒に身近なテーマを設定し、マッピングを用いて自分の考えや意見を広げたあと、I think, I agree, because などの表現を使ってフォーマットにまとめ、４文以上のつながりのある英文が書けることを目指したい。第一段階の目標として前時で「書きたいことが書ける」ということに重点を置いて指導したい。そして本時において「正確に書く」という課題に対応するため、綴りや文法などお互いに見合う活動を通して正確さを身につけさせていきたい。

単元の終わりには友達の書いた意見を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしながら、より説得力のある文章が書けることを目指したい。その際、友達の書いている内容をマッピング等を使ってまとめ、自分の英文に生かすように指導していきたい。

３　単元の目標

（１）「CAN-DO リスト」の学習到達目標

自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように、文と文のつながりに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

（２）教科の目標

①「英語の学習」について自己の賛否の意思表示に基づき、自分の意見や考えを理由をそえて書く。

②　読み手に伝わりやすいように、つなぎ言葉や言い換え等を用いて内容的にまとまりのある一貫した文を書く。

③　現在分詞及び過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解する。

④　間接疑問文の文構造を理解する。

（３）キャリア教育の視点でつけたい力

・学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えることができる。【キャリアプランニング能力】

4　単元の評価規準

ア　コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ　外国語表現の能力	ウ　外国語理解の能力	エ　言語や文化についての知識・理解
①英語の学習について、自分の考えや意見を、相手が理解しやすくなるように書いている。	①英語の学習について自分の考えや意見を、理由をそえて書くことができる。		①現在分詞及び過去分詞の後置修飾を用いた文の構造を理解している。 ②間接疑問文を用いた文の構造を理解している。

5　授業と評価の計画（全８時間）

	学習内容	評　価　総括的評価（形成的評価）					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	・本単元の見通しをもつ。 ・現在分詞の形容詞的なはたらきや文の構造を知る。 ・現在分詞の後置修飾を使って、描かれている絵について説明する。				○	エ①正しい語順で現在分詞の後置修飾を用いた文を書いている。	ワークシートの点検 定期テスト
2	・過去分詞の形容詞的なはたらきや文の構造を知る。 ・Starting Out のクイズを参考にして分詞の後置修飾を含んだクイズを考え出題し合う。				○	エ①正しい語順で分詞の後置修飾を含んだクイズの文を書いている。	ワークシートの点検 定期テスト
3	・間接疑問文を用いた文の構造を知る。 ・ワークシートを使って口頭練習を行った後、それを書いて間接疑問文の文構造に慣れる。				○	エ②正しい語順で間接疑問文を用いた文を書いている。	ワークシートの点検 定期テスト
4	・Dialog の本文の内容を読み取る。 ・マッピングを使い、電子辞書と紙辞書それぞれの長所・短所を出し合う。 ・マッピングから自分の意見を１つ抜き出して文を書く。Ex. We should use △△because it is○○.		○			イ①自分の意見を、理由をそえて書くことができる。	ワークシートの点検

5	・Reading for Communication 本文の登場人物それぞれの意見を読み取る。（読み取りの観点を与え、だれがどのような意見やアドバイスを書いているかをつかませる。） ・登場人物の意見に対して賛否を表す意見とその理由を考えて書く。		○			イ①登場人物の意見をもとに、賛否を表す文とその理由を書くことができる。	ワークシートの点検
6	・教科書のインターネット上で行われている意見交換を参考にしてテーマ「英語の勉強をなぜするのか」について考える。 ・アンケート用紙の「賛成・反対」に☑を入れ、なぜそれを選んだのか、その理由をそえて文を書く。	○				ア①英語の学習について自分の考えや意見を、相手が理解しやすくなるように書いている。	ワークシートの点検
7 本時	・ワークシートを読み合い、友達の意見や考えを知る。 ・様々な考え方を理解し、自分の書いた文を推敲する。 ・アンケートに答え、自分の考えの変化の有無等も含めて、感想を書く。		○			イ①英語学習について自分の考えや意見を膨らませたり書き直したりして完成させることができる。	・観察 ・ワークシートの点検
8	・前時の活動の振り返り ・全員が文の推敲を仕上げたワークシートを発表し合い評価を行う。		○			イ①自分の考えや意見を正しく書くことができる。	・ワークシートの点検 ・定期テスト

6　本時の授業（7／8）

（1）目標・評価規準・評価方法

本時の目標	・友達の様々な意見を読み、「英語学習に対する賛否」について自分の考えや意見とその理由を深めて書くことができる。
観点別評価規準	イ①英語学習について自分の考えや意見を膨らませたり書き直したりして完成させることができる。
準備物	・ワークシート（桃色・黄色）・英和和英辞典　・マッピングシート　・授業アンケート

（2）キャリア教育の視点でのつけたい力

・学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりについて考えることができる。【キャリアプランニング能力】

（3）展開（7／8）

	学習活動	留意点 ◇努力を要する状況と判断される生徒の支援 ☆キャリア教育の視点での留意事項	評価規準 （評価方法）
導入	1　本日の学習とゴールの確認 2　ウォームアップ ・あいさつ ・Daily Conversation（ペア） ・New words（ペア）	・目標を明確にし、見通しを持たせる。 ・楽しく元気に活動することで、英語の学習に積極的に取り組める雰囲気づくりを行う。 ・テンポよくすすめる。	
展開	3　テーマの確認 テーマ〈Ken の掲示板の問いかけ〉 I think that we don't have to study English.　Why should students study English? 英語をなぜ勉強するのでしょうか。		
	4　ワークシートを読み合う 。 ・マッピングシートに友達の意見を書き加えながらワークシートを交換して読み合う。（言語活動）	・友達がなぜそう思うのかを読みとる。 ＊英語を勉強するべき→桃色紙 英語を勉強しなくてよい→黄色紙 ＊前時で意見を記入したものを読む。	
	「英語学習に対する賛否」について考えや意見とその理由をさらに膨らませて文を書こう		
	5　自分の文を推敲する 。 ・様々な意見を読んだ後、自分の書いた文に言葉や文を書き加えたり、変更するなどして文の推敲を行う。（言語活動） 6　友達と文を推敲し合う。 ・教え合いや手直し等を協力して行う。	〔推敲の２つの視点〕 ・自分の主張とその理由が書けている。 ・一文一文が正しく書け、つなぎ言葉等を使ってつながりのある文が書けている。 ◇視点を再確認させ、英文作成のアドバイスを行う。 ☆学ぶことと自分の将来とのつながりについて考えさせる。	イ①英語学習について自分の考えや意見を膨らませたり書き直したりして完成させることができる。（観察・ワークシート）
まとめ	7　発表 ・書いた文を発表する（数名） 8　振り返り ・授業アンケートに答え、自分の考えの変化の有無等も含め感想を書く。	・本時の評価規準に即して評価する。 ・あらためて英語学習に対する賛否を問うために桃色紙か黄色紙を上に挙げさせて、最終的な意思表示を見る。	